

Activity 4 Information Gap: Simple Completion

タスクの手順

- ・ペアを作ってもらおう。
- ・ペアごとに、シート A とシート B の 2 枚の紙を配布する。A と B には異なる情報が記載されている。
- ・ペアの人は、相手の紙を見ることはできない。
- ・お互いに質問し合うことで、必要な情報を得ていく。それぞれの紙の抜けていた情報を完璧にそろえる。

タスクを終えてみんなからのコメント

- ・熟達度が上級レベルの学習者にとっては簡単な activity になってしまうのではないか。学習者にとって簡単すぎるものにならないように、他の方法も考えることができるのではないか。例えば物語文などを用いて、分かりにくい部分を穴にして、その部分を説明して理解してもらおうなど。
- ・他にどのようなフォローアップが出来るか。
- ・質問するときの表現を黒板に書いて確認したほうがいい。
- ・今回のようなシートだと、ある情報・ない情報がお互いにすぐ分かってしまうので、どこに穴があるか分からないようにしたほうがいい。シート A とシート B の表の順番を入れ替えるということもひとつの方法として考えることができるのではないか。
- ・実用性に少し欠けるのではないか。オーセンティックな場面設定が必要。
- ・フォローアップとして、質問に対するあいづちの方法を教えてほしい。
- ・最初の説明で例を見せるときに、先生は質問者に徹する。そこで、どのような聞き方があるかを例示して確認する。
- ・今回のシートの表は、どのようにスタートするかが難しかった。そのような場合、何か工夫をするべき。

考察

タスク指導を英語で行うということがとても難しいということを実感した。最初の説明だけでなく、フォローアップまでしっかりと計画をたてる必要がある。今回扱った Activity 4 はお互いに情報を交換し合う Activity だったので、良いタスクになるのではないかと思った。しかし、実際にやってみて、その後にコメントをもらって、様々な視点から考えることができた。今回のようなシートの表だと、ペア同士でお互いにある情報・ない情報が分かっているので、どうにかして情報を得ることができる。しかし、日常的にある場面かというところを決してそうではないと思う。Activity として行うなら、実用的に使えるとい

う点にもさらに重きを置くべきだと思った。日常生活をイメージしながら場面設定を考えていく必要があると思った。また、多くの学習者がいる環境では、様々なレベルの学習者がいることが想定されるので、熟達度が異なる学習者に対してどのような指導が適切であるかを考えるべきだと思った。